令和5年度　保護者アンケート

【評価基準】　A：十分である　　B：おおむね十分である　　C：やや不十分である　　D：不十分である

1　結果　　回収：31／37（84%）

項目	No.	評価項目	%	A	B	C	D	A+B	A+B増減
教育方針	1	学校の方針や教育内容について、説明が十分に行われていますか。	R5	42	58			100	↑
			R4	52	31	4		83	
教育課程	2	個別の教育支援計画は、卒業後の自立や社会参加に向けて、本人や保護者のニーズに応じて作成されていますか。	R5	45	55			100	↑
			R4	50	35	4		85	
	3	個別の指導計画（通知表）は、本人や保護者のニーズに応じた学習の成果や課題などを分かりやすく伝えていますか。	R5	48	52			100	↑
			R4	58	29	2		87	
	4	生徒の課題や特性に応じた授業が行われていますか。	R5	29	68	3		97	↑
			R4	46	33	4		79	
生徒指導	5	教職員は、生徒の人格を重んじ、適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導にあたっていますか。	R5	48	45	7		93	↑
			R4	54	27	4	4	81	
	6	教職員は、生徒との信頼関係を築いて、生徒指導にあたっていますか。	R5	48	45	7		93	↑
			R4	56	21	2	4	77	
	7	生徒のいじめや人間関係のトラブルなどに共通理解を図りながら適切に指導が行われていますか。	R5	55	45			100	↑
			R4	54	31	4		85	
安全指導	8	学校は、生徒の事故防止に向けた安全対策がとられていますか。	R5	55	45			100	↑
			R4	63	25			88	
	9	学校の施設・設備は、生徒が安全で健康に過ごせるよう整備されていますか。	R5	52	45	3		97	↓
			R4	67	25			100	
進路指導	10	学校は、卒業後の自立や社会参加に向けて様々な進路に関する情報を提供していますか。	R5	52	48			100	↑
			R4	54	33	4		96	
情報発信	11	学校は、ホームページや学校だよりなどにより、保護者や地域に向けて適切に情報が発信されていますか。	R5	45	55			100	↑
			R4	52	35	2		87	
連　携	12	学校は、愛別町をはじめ、福祉や労働関係機関と連携して教育活動を行っていますか。	R5	55	45			100	↑
			R4	58	31	2		89	
保護者対応	13	教職員は、保護者の相談に適切に対応してくれますか。	R5	55	42	3		97	↑
			R4	60	27	4		87	
	14	教職員は、保護者に対して適切な言葉遣いや服装、態度で接していますか。	R5	61	39			100	↑
			R4	65	27			92	
	15	PTA活動は、保護者や教職員が積極的に参加し、活動が充実していますか。	R5	26	68	6		94	↑
			R4	52	29	4		81	
	16	学校は、生徒の学習や生活の様子について、正確に保護者に伝えていますか。	R5	48	52			100	↑
			R4	56	29	2	2	85	
事務手続き	17	各種の事務手続きについて、わかりやすい説明や保護者からの相談に応じていますか。	R5	29	65	6		94	↑
			R4	50	35	6		85	

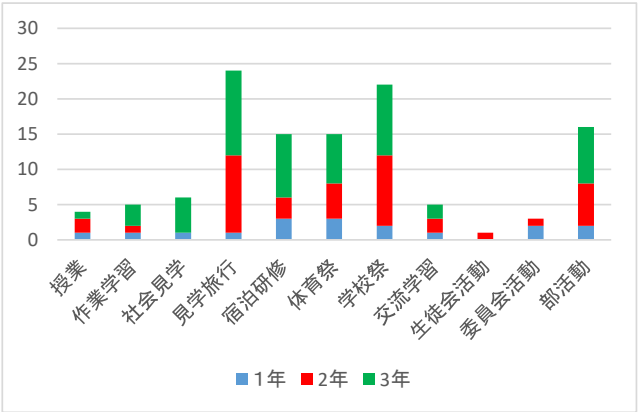
2　分析（項目別）

教育方針	No.1	○A+Bの値で100%を占めており、高い評価になったが、R4と比較するとAの値が減少している。 ☆次年度も、学校教育目標や教育内容の丁寧な説明に努め、目指す生徒像、目指す学校像の実現を図る。
教育課程	No.2 No.3	○個別の教育支援計画、個別の指導計画（通知表）については、高い評価を示して、R4で見られたC（やや不十分）がなくなった。 ☆保護者への丁寧な説明がされていると判断されるので、今後も保護者と共通理解を図り、開かれた教育課程の深化・充実を図る。
	No.4	○生徒の課題や特性に応じた授業については、R4と比較してA+Bの値が高くなったが、Aの値だけで見ると半減している。 ☆生徒の目標や指導内容・方法、変容等について、多様化していることを考慮して授業の工夫改善をする。
生徒指導	No.5 No.6	●A＋Bの値はR4と比較して高くなったが、Aの値がR4と比較して若干減少し、C（やや不十分）やD（不十分）の値はなくなっていない。 ☆次年度も、生徒との信頼関係を築いて、丁寧な対応に努める。
	No.7	○A＋Bの値がR4と比較して高くなっており、しかもAの値も1ポイント高くなり、R4で見られたC（やや不十分）がなくなった。 ☆今後もいじめにつながらないように、早期発見、組織的な指導に務めると同時に、未然防止にも力を入れる。
安全指導	No.8	○A＋Bの値でほぼ100%と高い評価が出ている。 ☆今後も未然防止に努め、安全対策を徹底する。
	No.9	●学校の施設・設備については、A＋Bの値がR4と比較して減少している。夏の暑さが影響していると考えられる。 ☆今後も暑さ対策に関しては、早期対応を念頭におき、生徒が安全で健康に過ごせるよう留意する。
進路指導	No.10	○A+Bの値が100%を占め、R4に見られたC（やや不十分）の値がなくなった。 ☆今後も保護者、生徒に対して進路の情報提供を提供して共通理解を得るよう務める。
情報発信	No.11	○A+Bの値が100%を占め、R4に見られたC（やや不十分）の値がなくなった。 ☆今後もホームページや学校だよりなどで保護者や地域に向けて適切に情報を提供する。
連携	No.12	○A+Bの値が100%を占め、R4に見られたC（やや不十分）の値がなくなった。 ☆引き続き、愛別町、関係機関との連携の改善・充実を図り、教育活動のさらなる充実に努める。
保護者対応	No.13 No.14 No.16	○A+Bの値がほぼ100%を占め、R4と比較して高くなっている。しかしC（やや不十分）の値が若干みられる。 ☆保護者のニーズをとらえて、共感することで保護者への丁寧な説明と共通理解を図る。
	No.15	●A＋Bの値はR4と比較して13ポイント以上高くなっているが、Aの値は低くなり、C（やや不十分）の値が2ポイント上がった。 ☆今後も保護者のニーズを把握して持続可能な取り組みを模索する必要がある。
事務手続き	No.17	○A＋Bの値はR4と比較して高くなっているが、Aの値は低くなっている。 ☆保護者の困り感やニーズを的確に把握して、丁寧な説明や対応に努める。

令和5年度 学校評価（生徒アンケート） 集計結果（学年ごと）《 回収率35/37 94.6% 》

項目	No.	評価項目		はい		はい
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	R5_1学年	67%	R4_1学年	44%
			R5_2学年	79%	R4_2学年	81%
			R5_3学年	73%	R4_3学年	94%
			R5_全　体	73%	R4_全　体	73%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	R5_1学年	83%	R4_1学年	44%
			R5_2学年	64%	R4_2学年	75%
			R5_3学年	47%	R4_3学年	100%
			R5_全　体	65%	R4_全　体	73%
信頼関係	3	この学校に相談（信頼）できる先生はいますか	R5_1学年	83%	R4_1学年	50%
			R5_2学年	72%	R4_2学年	81%
			R5_3学年	53%	R4_3学年	88%
			R5_全　体	69%	R4_全　体	73%
友人関係	4	この学校に相談（信頼）できる友達はいますか	R5_1学年	83%	R4_1学年	50%
			R5_2学年	72%	R4_2学年	69%
			R5_3学年	60%	R4_3学年	88%
			R5_全　体	72%	R4_全　体	69%
自己有用感	5	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	R5_1学年	83%	R4_1学年	50%
			R5_2学年	72%	R4_2学年	50%
			R5_3学年	53%	R4_3学年	81%
			R5_全　体	69%	R4_全　体	60%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができていますか	R5_1学年	67%	R4_1学年	50%
			R5_2学年	79%	R4_2学年	44%
			R5_3学年	93%	R4_3学年	88%
			R5_全　体	80%	R4_全　体	61%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてくれますか	R5_1学年	83%	R4_1学年	50%
			R5_2学年	86%	R4_2学年	88%
			R5_3学年	100%	R4_3学年	88%
			R5_全　体	90%	R4_全　体	75%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてくれますか	R5_1学年	100%	R4_1学年	56%
			R5_2学年	86%	R4_2学年	100%
			R5_3学年	93%	R4_3学年	94%
			R5_全　体	93%	R4_全　体	83%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	R5_1学年	67%	R4_1学年	63%
			R5_2学年	79%	R4_2学年	88%
			R5_3学年	80%	R4_3学年	94%
			R5_全　体	75%	R4_全　体	82%

No.10　学校生活で、楽しみなこと（楽しかったこと）はなんですか。（複数回答あり）



	1年	2年	3年
授業	1	2	1
作業学習	1	1	3
社会見学	1	0	5
見学旅行	1	11	12
宿泊研修	3	3	9
体育祭	3	5	7
学校祭	2	10	10
交流学習	1	2	2
生徒会活動	0	1	0
委員会活動	2	1	0
部活動	2	6	8
その他	特に数学、保健委員会		
	友達と話す時間、放課後		

No.11　学校生活について、お願いやもっとこうしてほしいと思うことはなんですか。

1年	部活の時間を長くしてほしい、部活の日を増やしてほしい
	個別に作業をしてほしい
2年	自動販売機を設置してほしい（2）
3年	下校のバスが早いので出るのを遅くしてほしい
	帰りのバスを増やしてほしい
	6時間授業を増やしてほしい
	エアコンを付けてほしい

令和5年度 学校評価（生徒アンケート）の分析

1 回収率の確認　35人 ／37人中　94．6 %

2 設問項目からの分析

（1）評価の高い項目の抽出（肯定的回答が80%を上回った項目）

項目	No.	評価項目	%	%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができていますか	80%	61%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてくれますか	90%	75%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてくれますか	93%	83%

（2）評価の低い項目の抽出（肯定的回答が70%を下回った項目）

項目	No.	評価項目	%	%
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	73%	73%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	65%	73%
信頼関係	3	この学校に相談（信頼）できる先生はいますか	69%	73%
友人関係	4	この学校に相談（信頼）できる友達はいますか	72%	69%
自己有用感	5	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	69%	60%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	75%	82%

（3）「わからない」と回答した項目の抽出

項目	No.	評価項目	%	%
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	20%	17%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	13%	17%
信頼関係	3	この学校に相談（信頼）できる先生はいますか	11%	13%
友人関係	4	この学校に相談（信頼）できる友達はいますか	7%	13%
自己有用感	5	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	26%	29%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができていますか	18%	27%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてくれますか	8%	15%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてくれますか	7%	10%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	25%	13%

（4）肯定的回答（「はい」）が80%以上の項目についての分析

□3項目～No.6「進路指導」（80%）、No.7「学習指導」（90%）、No.8「生徒指導」（93%）
・「進路指導」については、卒業後の生活や進路に関して学年が上がるに従って高い値を示す傾向が見られた。作業や学習全般において、働き続ける力を学年が上がるにつれて主体的に考える姿勢が育っていると思われる。
・「生徒指導」については、「社会人になるために必要な力」や「社会人として身に付けておくべき力」を明確にし、一人一人のよさや課題を的確に把握した継続的・一貫的な指導の成果と考えられる。
・「学習指導」については、指導の根拠（「なぜ学ぶのか」）の提示や、生徒用シラバスの活用、一人一人の学びの特性に応じたきめ細かな指導、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業の改善・充実に取り組んでいる成果と考えられる。
・ ポイントが高いと言うことは、生徒はそれなりに学習内容がの必要生を理解していることになるので、その次の段階の般化につなげられるようにすることが求められる。

（5）肯定的回答（「はい」）が70%以下の項目についての分析

□3項目～No.2「困り感」（65%）、No.3「信頼関係」（69%）、No.5「自己有用感」（69%）
・対人関係の構築やコミュニケーション能力、課題解決能力に課題が見て取れる。対人関係に対する不安や不満の解消、信頼関係の構築、自己有用感を高めるために、特別の教科道徳の指導を中心に、自己理解、他者理解に関わる指導の充実を図る必要がある。
・「自己有用感」についても、自分の認めてくれる人はいるかの回答で「わからない」が26%いることから、自分に対する自信のなさが原因と考えられる。自分で限界を決めてこれ以上はできないと早くに諦めてしまい、一歩踏み出す経験を後押しして達成感を感じられるような指導が求められる。日ごろから自信をつけさせるような言葉かけが必要と思われる。

（6）学校生活（楽しいこと、要望など）についての分析

□学校生活で楽しいこと、楽しみにしている行事は、見学旅行(24名)、学校祭(22名)、次いで部活動（16名）と高い値を示している。その他、宿泊研修、体育祭が15名の生徒が楽しみにしている結果となった。行事をとおして達成感や協力する姿勢を育てるよう支援することが求められる。

令和5年度　学校評価教職員アンケート

【評価基準】　Ａ：十分である　　Ｂ：おおむね十分である　　Ｃ：やや不十分である　　Ｄ：不十分である

1　結果(昨年度との比較)　　回収:19／19(100%)

項目	No.	評価項目		A	B	C	D	A+B	A+B増減
学校運営	1	私は、学校教育目標や教育方針、経営方針の達成に向けて、教育実践している。	R5	16	84			100	
			R4	35	65			100	
	2	私は、個別の教育支援計画を、本人や保護者の意見を反映させて、作成している。	R5	11	84	5.3		95	↓
			R4	52	43	4		96	
	3	私は、個別の指導計画（通知表）を、本人や保護者の意見を反映させた目標や手立てを立て、適切に評価している。	R5	21	79			100	↑
			R4	17	65	17		83	
	4	私は、特別支援教育の専門性を基盤に、個に応じた授業を行っている。	R5	16	84			100	↑
			R4	30	61	9		91	
	5	本校は、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な探求の時間の年間授業時数は、適切に配当されている。	R5	37	47	16		84	↓
			R4	43	52	4		96	
	6	本校は、学習活動が効果的に展開できるよう週時程表が作成され、適切に運用されている。	R5	16	79			100	↑
			R4	43	52	4		96	
	7	私は、教職員相互の尊厳、信頼、協力により組織的、効率的に校務を推進している。	R5	11	79	11		90	
			R4						
教育活動	8	私は、生徒の人格や人権を尊重し、適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導を行っている。	R5	47	53			100	↑
			R4	39	52	9		91	
	9	私は、生徒との信頼関係に基づき、社会で必要なマナーやルールについて指導を行っている。	R5	37	53	11		90	↓
			R4	35	57	9		91	
	10	私は、生徒の問題行動の早期発見に努め、組織的な指導と関係機関との連携に努めている。	R5	21	68	11		90	↓
			R4	39	61			100	
	11	私は、常に危機管理意識をもち、その防止に向けた対策に基づく実践に努めている。	R5	47	53			100	↑
			R4	35	57	9		91	
	12	私は、生徒の健康な心と体を維持するために、生徒の健康保持・増進に努めている。	R5	21	74	5.2		95	↓
			R4	52	48			100	
	13	私は、地域の様々な企業や福祉事業所等の情報収集と生徒の実態把握を意識した進路指導に努めている。	R5	11	74	16		84	↓
			R4	48	52			100	
連　携	14	本校は、教育方針や教育内容について、保護者や地域、関係機関に向けて適切に情報を発信、丁寧な説明をしている。	R5	16	79	5.3		95	↑
			R4	30	61	9		91	
	15	本校は、教育相談をはじめ、地域の関係機関や小・中・高と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	R5	16	84			100	
			R4	57	43			100	
保護者対応	16	私は、保護者に生徒の様子等についてわかりやすく伝え、生徒の特性を捉え、適切な助言を行い、保護者との合意形成を図っている。	R5	16	79	5.3		95	↓
			R4	30	70			100	
	17	私は、教育公務員という立場を自覚して、服務規律の遵守に努めている。	R5	74	21	5.2		95	↑
			R4	57	35	9		91	
	18	本校のＰＴＡ活動は、保護者や教職員とも、積極的に参加し、その充実に努めている。	R5	26	63	11		90	↓
			R4	17	78	4		96	
事務手続き	19	私は、就学奨励費、学校納入金など丁寧な説明、相談に応じている。	R5	26	63	11		90	↓
			R4	48	48	4		96	
研究・研修	20	私は、新しい研修制度に関わり、専門性向上のため研究・研修を積極的に行っている。	R5	16	58	21	5.2	74	
			R4						
	21	私は、ICT機器を積極的に活用しながら授業を行っている。	R5	16	73	11		89	↓
			R4	39	52	9		91	

2 分析（項目別）

学校運営	No.1	○A+Bの値で100%を占めており、高い評価になったが、R4と比較するとAの値が半減している。 ☆次年度も、学校教育目標や教育内容の丁寧な説明に努め、目指す生徒像、目指す学校像の実現を図る。
教育課程	No.2 No.3	○個別の教育支援計画、個別の指導計画（通知表）については、高い評価を示しているが、個別の教育支援計画作成ではAの値が低くなっている。また、個別の指導計画（通知表）については、Aの値が高くなっている。 ☆生徒の課題や良さについて、具体的な目標設定をとおして、保護者と共通理解を図り、開かれた教育課程の深化・充実を図る。 ☆通知表の評価は、適切に評価されている傾向が見られることから、引き続き教育支援計画への反映をする。
	No.4	○生徒の課題や特性に応じた授業については、R4と比較してA+Bの値が100%になったが、Aの値だけで見ると半減している。 ☆生徒の目標や指導内容・方法、変容等について、多様化していることを考慮して授業の工夫改善をする。
	No.5	●各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な探求の時間の年間授業時数について、R4と比較してA+Bの値96%から84%に減少した。 ☆個別の支援が求められるケースが多くなってきていることから、柔軟に調整する。
	No.6 No.7	●A+Bの値が100%を占め、効果的に展開できるよう週時程表が作成され、適切に運用されているが、Aの値は減少している。 ☆効果的、適切に運用でまだ十分でないという評価であることから、臨機応変な対応や教職員の協力が今後も必要になると思われる。
教育活動	No.8 No.9	○生徒への人権の尊重や教職員間の信頼関係については、Aの値がR4と比較して上昇しており、教職員一人一人が日ごろから自覚を持って生徒と接している結果となった。 ☆次年度も、教職員一人一人が生徒の人格を尊重した指導、社会人としてのモデルであることの自覚と責任のある言動をとおして、生徒との信頼関係の構築に努める。
	No.10	●生徒の問題行動の早期発見、組織的な指導と関係機関との連携については、R4と比較してAの値が低くなり、Cのやや不十分が11%となった。 ☆人間関係のトラブルについては、日常的な観察による早期発見に努めるとともに、組織的な対応の継続と関係機関との連携を図るなど、保護者への丁寧な説明をとおして、説明責任を果たし保護者との共通理解を図る。
	No.11	○危機管理の意識はR4と比較して高くなっている。 ☆今後も危機管理意識をもち、その防止に向けた対策に基づく実践を図るようにする。
	No.12	●生徒の健康な心と体を維持に関して、Aの値がR4と比較して半減して、Cのやや不十分が5%となった。 ☆コロナの影響は少なくなった反面、生徒のコミュニケーションの不足や対人面からくる心の不安定による課題にきめ細やかに対応することが必要となってきている。
	No.13	●進路先の情報収集と生徒の実態把握を意識した進路指導については、R4と比較してA+Bの値、Aの値とも減少している結果となった。 ☆進路外勤の職員が3名から2名になったことも影響していると考えられる。教職員一人一人が生徒の卒業後の生活をイメージして、生徒自身が将来の生活を具体的に見通せるように、日々の授業やHR、生徒面談等をとおして、個に応じた丁寧な進路指導に努める必要がある。
連携	No.14	○Cの値がR4と比較して9%から5%に減少し、A+Bの値も91%から95%に上昇した。 ☆今後も地道にHPの更新や学校だよりの定期的な発行をとおして、保護者及び地域に向けて適切な情報提供に努める。また、学年通信における記載内容を工夫（学習の様子だけではなく、学習のねらい等を記載するなど）し、指導内容等への保護者の理解を深める。
	No.15	○Aの値はR4と比較して減少しているが、A+Bの値ではR4、R5とも100%である。 ☆前年度の評価に基づき、愛別町、関係機関との連携の改善・充実を図り、教育活動のさらなる充実に努める。
保護者対応	No.16	●保護者への相談や対応については、R4と比較してA+Bの値が若干減少し、Cのやや不十分も5%を示した。 ☆常日頃から生徒の情報は課題や心配事があったときだけ連絡するのではなく、良かったこと、頑張ったことも保護者と共有するように努め、保護者との共通理解を深める。
	No.17	○服務規律の遵守については、R4と比較して高い評価になった。 ☆一人一人が意識を高く持っているためだと評価できる。次年度も、教職員一人一人が教育公務員としての自覚と責任をもち、服務規律の遵守に努めるとともに、保護者への丁寧な対応と細やかな説明に努め、保護者との共通理解を深める。
	No.18	○PTA活動については、Aの値がR4と比較して上昇し、高い評価を示した。 ☆会員が参加しやすく会員相互の情報交換の場となるよう、持続可能なPTA活動の内容の改善・充実を図る。
事務手続き	No.19	○Aの値がR4と比較して半減したが、おおむね高い評価になった。 ☆次年度も、丁寧な説明や対応に努める。
研究・研修	No.20	●新しい研修制度に関しては、A＋Bの値が74%と低い結果となった。 ☆オンラインでの研修も増えてきているので、専門性向上のため研究・研修を積極的に行うよう務める。
	No.21	●ICT機器を積極的に活用しながら授業に関しては、A＋Bの値ではR4と比較して大きな差はみられなかったが、Aの値は半減している。 ☆効果的なICT機器の活用を今後も積極的に進めることが求められる。